

ミカドテクノス株式会社

環境活動レポート

対象期間：2021年1月1日～2021年12月31日

環境方針

事業活動の概要

環境目標

活動計画

環境目標の実績・評価

環境への取組結果の評価と次年度の取組

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

代表者による全体評価と見直し



2022年3月15日発行

<< 環境方針 >>

環境理念

常に環境保全に配慮した考えで行動し、地球環境の改善美化に皆で取り組み、限りある資源を大切に作るものづくり企業を目指します。

行動方針

ミカドテクノス株式会社はプレス部品の生産、及び機械装置の製造活動に際して、下記項目を重点課題として環境保全活動に取り組みます。

1. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に環境保全の改善活動に努めます。
2. 環境保全に関連する法規制および地域の環境保全協定を遵守し、環境汚染の防止に全員で取り組みます。
3. 限りある資源を有効的に活用し、地球環境の保全美化に全員で取り組みます。
4. 環境負荷が大きい以下の重要課題に関して継続的改善に取り組みます。
 - 1) 地球の温暖化防止としてのCO₂の排出管理
(ガソリン、軽油、灯油、可燃ごみ、電気エネルギーの削減)
 - 2) 限りある資源の有効活用
(ダンボール、コピー用紙のリサイクル、不燃ごみの削減)
 - 3) グリーン購入の推進
 - 4) 自社製品に於ける環境負荷の削減
(環境に配慮した部品等の調達及び製品の省電力化)
 - 5) 製造工程に於ける環境負荷削減のための効率化
5. 社員に必要な教育を行い、環境方針の周知徹底と環境保全の意識の高揚を図りま

2012年1月31日
ミカドテクノス株式会社
代表取締役社長
伊藤 隆志

事業活動の概要

1) 事業社名及び代表者名

ミカドテクノス株式会社
代表取締役社長 伊藤 隆志

2) 所在地

本社工場
〒399-4603
長野県上伊那郡箕輪町大字三日町888

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理統括責任者 代表取締役社長 伊藤 隆志

本社工場 環境管理責任者 工場長 北澤 健一
連絡先 電話 0265-79-2323
FAX 0265-79-2190
E-MAIL mikado@mikado-net.co.jp

4) 事業の内容

マシンプロダクト課：機械装置の設計・製造
パーツプロダクト課：プレス加工部品製造、機械装置の設計・製造

5) 事業規模

本社工場 売上高 5億7百万円
人員総数 21名
床面積 1372㎡

環境目標

中期目標

	単位	2011年 基準年度	2021年目標 基準年-10%	2022年目標 基準年-11%	2023年目標 基準年-12%
化石燃料の削減 (自動車)	ℓ/万円 (売上高比)	0.088	0.079	0.078	0.077
	kg-CO ₂	11,062	9,956	10	9,735
化石燃料の削減 (灯油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.206	0.19	0.18	0.18
	kg-CO ₂	27,655	24,890	24,613	24,336
電力使用量の削減	kWh/万円 (売上高比)	5.11	4.60	4.55	4.50
	kg-CO ₂	125,324	112,792	100,385	110,285
CO ₂ 総排出量の削減	kg-CO ₂	165,608	149,047	147,391	145,735
コピー用紙の削減	kg	0.005	0.005	0.005	0.004
不燃ごみの削減	kg	0.131	0.118	0.117	0.115
用水使用量の削減	m ³	0.0119	0.0107	0.0105	0.0105
グリーン購入化の推進	%	85.6	90	90	90.000
残業時間の抑制	-	2020～実施	36協定時間以内		

※中部電力H20年度実排出係数 0.455Kg-CO₂/kwhを使用

※グリーン購入化の目標値について実現が厳しい内容の為2020年度より当面90%目標で固定

環境経営活動計画

2021年度環境活動計画表

化石燃料の削減 (自動車)	<ul style="list-style-type: none">・タイヤの空気圧チェック・出張時の公共交通機関利用・室内温度管理 (冬季20°夏季27°)・エコドライブの周知徹底
化石燃料の削減 (灯油)	<ul style="list-style-type: none">・ストーブタイマーの活用・温度計の設置・不要箇所は電源OFF・5Sパトロールの実施
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・電灯のLED化・不要箇所の消灯・省エネ機器の選定及び更新・OA機器の節電設定・5Sパトロールの実施
印刷用紙購入量削減	<ul style="list-style-type: none">・両面コピー・印刷の徹底・再生紙の購入・使用済用紙の裏面活用・電子データの推進・ダンボールの再使用・用紙の分別 (リサイクル化)
不燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none">・ゴミ分別の徹底 (リサイクル化)・私物ゴミの持ち帰り・5Sパトロールの実施
用水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・定期的に漏水の点検・使用量の把握及び管理・節水ポスターの掲示・水道口に節水コマ設置・節水可能な機器の選定及び更新
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none">・環境に配慮した製品 (リサイクル品) の購入
自社製品への環境配慮	<ul style="list-style-type: none">・RoHS及びグリーン購入品を購入・省電力化を考慮した設計・省エネルギー設計された製品の使用・生産の効率化・製品及び装置出荷時の梱包の簡素化
残業時間の抑制	<ul style="list-style-type: none">・残業時間の短縮と法令違反確認・作業環境の改善

環境目標の実績・評価

環境への負荷実績（単位は売上高比（ /万円）に対する値とする）

	単位	2011年 基準年度	2021年目標 基準年-10%	達成	評価
化石燃料の削減 (ガソリン・軽油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.088	0.079	○	○
	kg-CO ₂	11,062	9,956		
化石燃料の削減 (灯油)	ℓ/万円 (売上高比)	0.206	0.19	○	○
	kg-CO ₂	27,655	24,890		
電力使用量の削減	kWh/万円 (売上高比)	5.11	4.60	×	×
	kg-CO ₂	125,324	112,792		
CO ₂ 総排出量の削減	kg-CO ₂	165,608	149,047	×	×
コピー用紙の削減	kg	0.005	0.005	○	○
不燃ごみの削減	kg	0.131	0.118	○	○
用水使用量の削減	m ³	0.0119	0.0107	○	○
グリーン購入化の推進	%	85.6	90	×	△
残業時間の抑制	-	36協定時間以内		○	○

CO₂総排出量は売上高比ではなく実際の排出量で記載

- 達成状況は達成の可否のみを判定する（○×）
- 評価 ○できた △もう一歩 ×出来なかった

環境への取組結果の評価と次年度の取組

化石燃料の削減

- ・ 燃費の良いジェットヒーターの導入で工場全体が温まり従業員には好評です。
- ・ 急発進や急加速を抑えた運転を朝礼等で周知させていきたい。

電力使用量の削減

- ・ JETヒータの導入で200Vの電気ストーブの使用を廃止しました。
- ・ 電気ストーブ数台を廃止したにも関わらず、電気使用量が目標の70%程度の数値になっていますので、課毎で電気使用量が分からないか検討します。

コピー用紙の削減

- ・ 不必要な押印を廃止する事で印刷の機会を減らしました。
- ・ 引続き不要な押印は無くす方向で活動していきます。

不燃ごみの削減

- ・ 分別の表を作成し貼り出す事で細かい分別ができるようになってきたと感じます。
- ・ パートの方が増え分別のルールが曖昧な方もいるので定期的に教育していきます。

用水使用量の削減

- ・ 年間通して節水活動ができたと思います。
- ・ 用水を多く使用するバレル工程を専門のバレル工区へ移管する活動を行います。

グリーン購入化の推進

- ・ 文房具を中心にエコマーク表示がある製品を積極的に採用しました。
- ・ 自動車や設備購入時にもエコを意識して選定します。

残業時間の抑制

- ・ 年間通して法令で定められた時間を超えての残業時間はありませんでした。
- ・ 各月40時間を超えないように作業者の配置や計画を立て活動していきます。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	内容	対象品・施設	対象作業	評価
水質汚濁防止法	特定施設の設置届	バレル研磨機	設置届の提出	○
	下水道への雑排水の管理	排水口	BOD/COD値測定	○
廃棄物処理法	産業廃棄物の管理	廃油 廃プラ 金属類	廃棄物処理業者との契約	○
			産廃物・リサイクル品の保管場所及び責任者等の表示	○
			報告書の提出 (1回/年6月末まで)	○
消防法	危険物の取扱い	危険物の取扱い	設置届の提出	○
騒音防止法 箕輪町環境条例	コンプレッサー (7.5kw以上)	コンプレッサー	設置届の提出	○
	動力プレス (30hp以上)	動力プレス	騒音の測定及び対応策	○
振動規制法	振動値の把握	プレス工場周辺	振動の測定	○
土壌汚染に関わる 環境基準について	油脂類の流出	油脂類置場 洗浄機	油脂類流出時の 緊急対応策	○
	スクラップへの雨対策	スクラップ置場	スクラップ箱への 防水カバー	○
フロン排出抑制法	エアコン室外機の 管理全般	エアコン室外機	設置台数把握 定期点検 廃棄時の適正処理	○

2021年12月24日に環境関連法規の遵守状況をチェックし、遵守されている事を確認しました。

違反・訴訟の有無

活動対象期間2021年1月～12月迄に違反及び起訴はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

新型コロナの収束が見えない中、量産部品の受注量が増えてきており設備、人共に不足している状況です。

会社の既存設備も色々と更新しなければならない時期に来ており、効率の良い生産活動を全員で行う必要があります。

エコアクションを続けていく中でその効果が出ることを期待します。

基本的なごみの分別やグリーン製品の積極的な使用等は意識せずとも出来るようになっていきます。

今後とも持続可能な世の中の為に会社として従業員一人一人として携わっていきましょう。

2022年3月15日

代表取締役社長

伊藤 隆志



環境経営活動計画

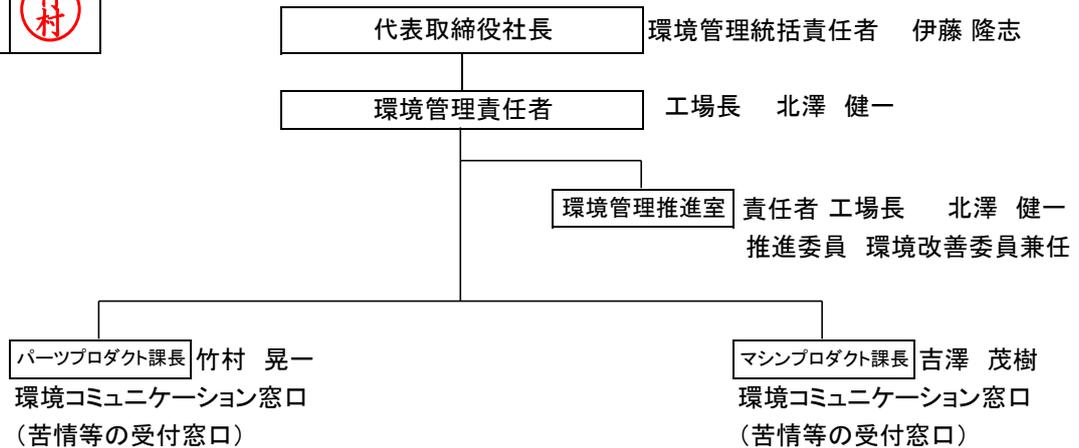
2022年度環境活動計画表 ※太文字は重点項目

化石燃料の削減 (自動車)	・ タイヤの空気圧チェック ・ 出張時の公共交通機関利用 ・ 室内温度管理 (冬季24°夏季28°) ・ エコドライブの周知徹底
化石燃料の削減 (灯油)	・ ストーブタイマーの活用 ・ 温度計の設置 ・ 不要箇所は電源OFF ・ 5Sパトロールの実施
電力使用量の削減	・ 電灯のLED化 ・ 不要箇所の消灯 ・ 省エネ機器の選定及び更新 ・ OA機器の節電設定 ・ 5Sパトロールの実施
印刷用紙購入量削減	・ 両面コピー・印刷の徹底 ・ 再生紙の購入 ・ 使用済用紙の裏面活用 ・ 電子データの推進 ・ ダンボールの再使用 ・ 用紙の分別 (リサイクル化)
不燃ごみの削減	・ ゴミ分別の徹底 (リサイクル化) ・ 私物ゴミの持ち帰り ・ 5Sパトロールの実施
用水使用量の削減	・ 定期的に漏水の点検 ・ 使用量の把握及び管理 ・ 節水ポスターの掲示 ・ 水道口に節水コマ設置 ・ 節水可能な機器の選定及び更新
グリーン購入の推進	・ 環境に配慮した製品 (リサイクル品) の購入
自社製品への環境配慮	・ RoHS及びグリーン購入品を購入 ・ 省電力化を考慮した設計 ・ 省エネルギー設計された製品の使用 ・ 生産の効率化 ・ 製品及び装置出荷時の梱包の簡素化
残業時間の抑制	・ 残業時間の短縮と法令違反確認 ・ 作業環境の改善
メンテナンス部品削減	・ 2021年度メンテナンス費用が多かった上位2点の製品について、材質・形状・寸法公差を変更し寿命を延ばす。

ミカドテクノ株式会社 マネジメントシステム組織図（環境）

2020年4月1日

承認	作成
	



※プレス部品製造に関する製造・購買・受注
出荷・最終検査・金型管理・設備管理
※金型・プレス部品製造に関するクレーム
受付窓口
最終検査・計測機器管理・出荷

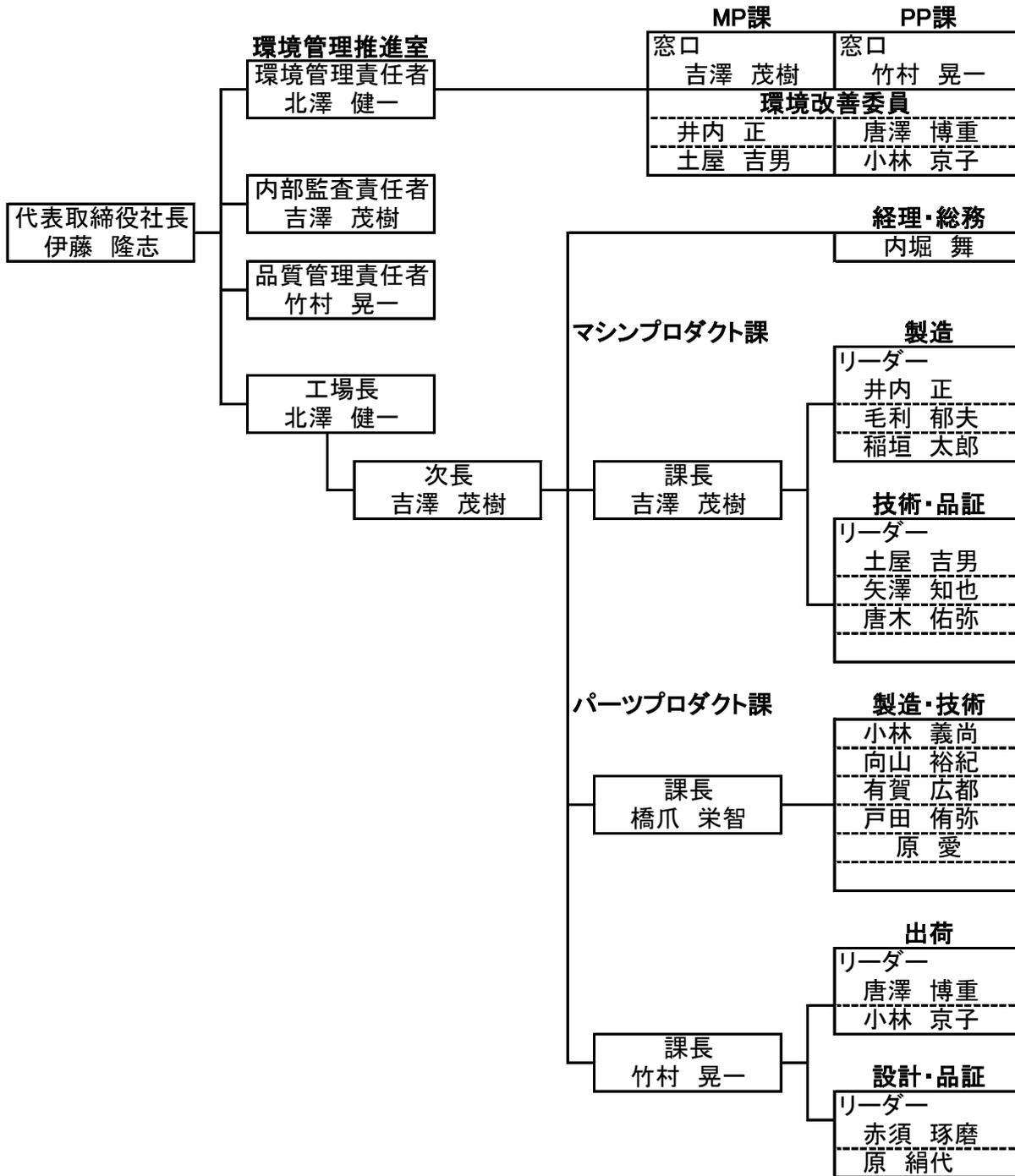
※機械装置製造に関する開発・設計・製造
購買・組立・最終検査・出荷・設備管理
計測機器管理
※機械装置製造に関するクレーム受付窓口

※部は、業務内容

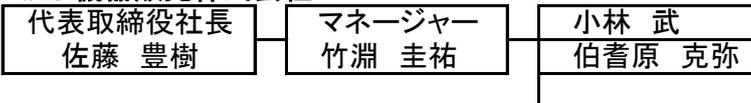
	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を制定する。 環境管理責任者を任命する。任命した環境管理責任者には他の責任にかかわらず環境管理に関する権限を与える。 環境活動計画書を承認する。承認にあたっては必要な資源(人材, 技術, 資金等)を用意する。 環境活動結果の全体の評価と見直しをする。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21に適合するシステムを確立する。 環境活動計画書の作成及びその計画達成を含めたシステムの実施状況を確認し、社長に報告する。 環境活動計画の進捗と実績の承認。 重大な不適合が発生した場合の再発防止対策。 環境に関わる個別活動の検討と調整。
環境管理推進室	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長(課長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

ミカドテクノ株式会社 ミカド機器販売株式会社 組織表

2022年10月21日



ミカド機器販売株式会社



組織業務の主な内容

※マシンプロダクト課

機械装置開発・製造及び、それに付帯する業務

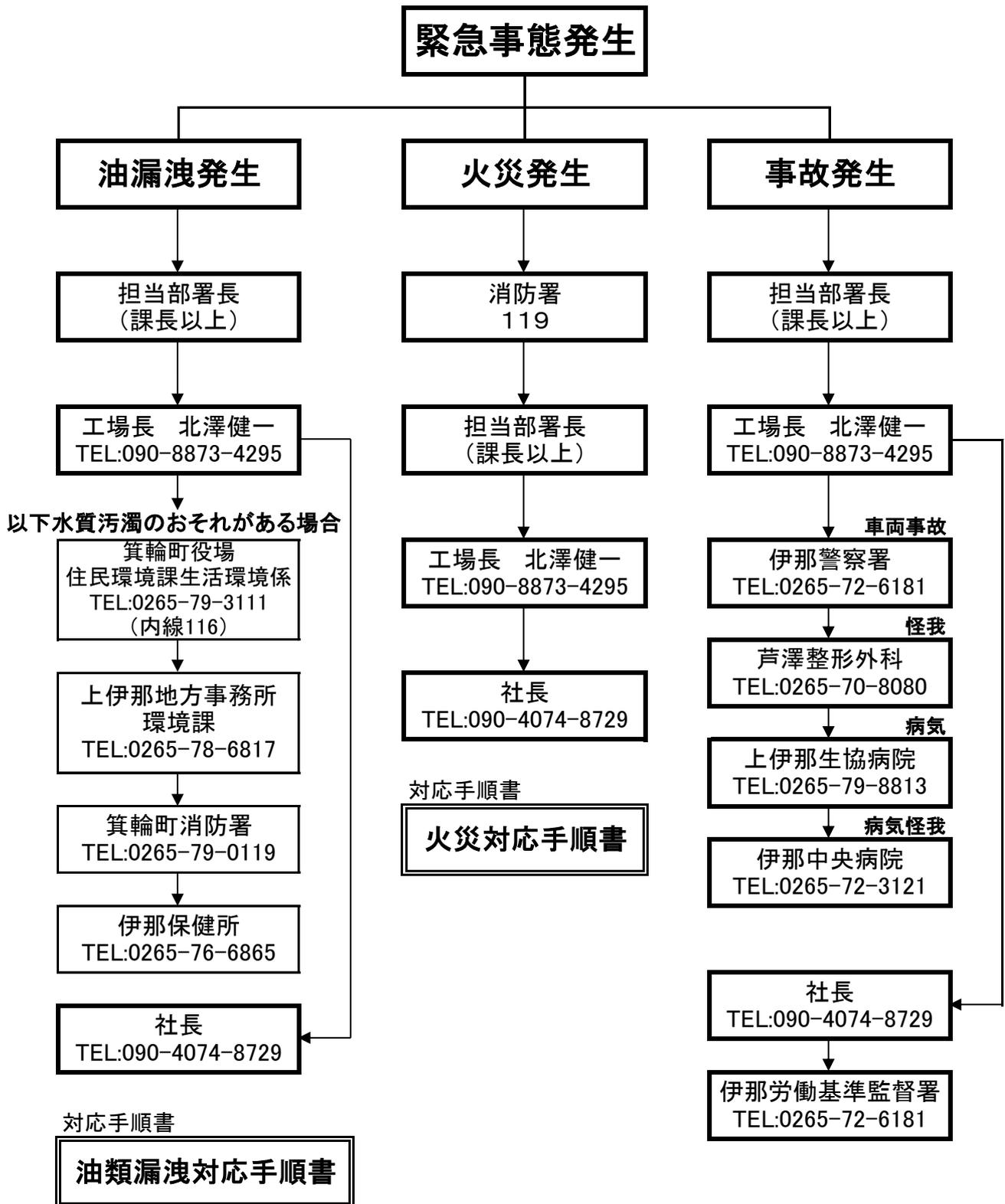
※ミカド機器販売(株)

機械装置製造に関する受注・契約・クレーム受付窓口

※パーツプロダクト課

プレス部品、金型製造及び、それに付帯する業務

<緊急事態発生時連絡体制>



ミカドテクノス株式会社
長野県上伊那郡箕輪町大字三日町888
TEL:0265-79-2323
FAX:0265-71-1450

緊急事態想定表

		承認	作成
改訂番号	2		
制定日	2008.01.15		
改訂日	2019.01.07		

No.	適用工場	施設・工程名	想定される環境影響	防御策	内容物
1	本社工場	社屋	火災発生	火災対応手順書 消火器設置	
2	本社工場	油種類置場	火災発生	火災対応手順書 消火器設置	機械油・灯油
3	本社工場	油種類置場	漏出による水質汚濁 及び土壌汚染	油類漏洩対応手順書 吸着マット常備	機械油・切削油
4	R&Dセンター	社屋	火災発生	火災対応手順書 消火器設置	

MIKADO 防災マニュアル

勤務中（時間外・休日出勤中も適用） 職場対策マニュアル

※ 発災時は□にレを入れて確認してください。

安全確保	<ul style="list-style-type: none">● 決して慌てない！● 窓際を避け、転倒・落下物に注意● 机の下に身を伏せる、あるいは柱に身を寄せる（頭を守る）。● 工場内にいる者は素早く会社前の広い敷地に避難する
職場の不安感除去 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 在籍管理職、職場責任者などはそのブロック（フロアー）の在籍者の不安感、動揺を防止し、冷静に行動するように指導する。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 必要な情報はテレビ、ラジオなどから入手し、社内放送などで伝達する。
業務停止 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 職場では直ちに業務を停止する。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 来客者に対してはただちに退出を促す。
安否確認	<ul style="list-style-type: none">● 職場内の社員・従業員の安全確認を在籍管理職等を行う。● 出張・出向者、休暇中の者には極力連絡をとり、安否確認をする。● 来客者の安全確認を手分けして行う。
けが人の救出 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 負傷者がでたら迅速に救護活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 重傷者の場合、消防署に連絡し救援を求める。
初期消火	<ul style="list-style-type: none">● 炎が天井まで達していないうちに職場の消火器、または屋内消火栓設備等を活用して適切な初期消火を行う。● 消火を失敗した場合、消防署へ連絡し、出入口の扉等を閉めて避難する。
火災による避難・誘導 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 初期消火を失敗した場合、即時に避難を開始する。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 非常放送設備、ハンドスピーカー、メガホン等を活用し、在館者に的確な指示をする（パニックの防止）。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 安全性の高い方向の階段等を優先使用する（災害弱者に対する配慮）。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">● 在籍管理職、職場責任者は避難終了を確認する。

職場の保安措置 (2次災害防止)	<input type="checkbox"/> ● 電源火災の防止のため機械、給湯器の電源を切る。 <input type="checkbox"/> ● コンピューターは直ちに内容を保存し、電源を切る。 <input type="checkbox"/> ● 書類は机、保管庫に収納する。 <input type="checkbox"/> ● 機密文書は鍵をかけて保管する。 <input type="checkbox"/> ● 落下しやすい物品は床に置くなどの措置を講ずる。 <input type="checkbox"/> ● 窓際の物品は除去する
帰宅準備	● 上記措置が終了次第、在籍管理職、職場責任者の指示により帰宅準備を始める。
帰 宅	<input type="checkbox"/> ● 最終退出者はすべての施錠を確認する。 <input type="checkbox"/> ● 在籍管理職、職場責任者は交通状況を把握し、社内に通達する。 <input type="checkbox"/> ● 状況次第で事業所に残留指令を出す。 <input type="checkbox"/> ● 備蓄食糧、照明器具、通信機材などを分配する。
帰宅後の対応	● 被災状況、交通手段など各自判断のうえ出勤可能となった場合、出勤する。 ● 出勤できない場合、職場あるいは緊急連絡先に被災状況、所在地、連絡方法などを連絡する。
災害時避難場所	● 本社：工場東側社員駐車場 ● R&D センター：箕輪中部小学校校庭

防災用品と備蓄品

《防災用品一覧》

品名	備考
<input type="checkbox"/> 消火器	
<input type="checkbox"/> バケツ	
<input type="checkbox"/> ヘルメット	
<input type="checkbox"/> 作業用手袋	
<input type="checkbox"/> タオル	木綿。汗拭き、マスク、止血、ホコリ防御兼用。
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> ラジオ	AM、FM受信可能なもの。電池式。
<input type="checkbox"/> 救急資器材セット	バール、ジャッキ、布担架等
<input type="checkbox"/> 救急箱	災害時応急手当用薬品セット (包帯、ガーゼ、消毒薬、絆創膏、ハサミ、ピンセット、ビタミン剤等)
<input type="checkbox"/> 電池	使用機器にあわせて電池サイズは各種用意しておく。
<input type="checkbox"/> ロープ	
<input type="checkbox"/> 毛布	担架の代用としても使える。
<input type="checkbox"/> 雨合羽	
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	緊急対処として黒のビニール袋、ロール紙、紐も可。

《備蓄食糧一覧》

品名	備考
<input type="checkbox"/> 水缶詰	缶入り500ml、3年保存。1人あたり1日3Lが目安。
<input type="checkbox"/> アルファ米	白飯と五目飯の2種類ある。保存期間5年。水又は湯を注ぐだけ。
<input type="checkbox"/> ほっとぐるべん	ひもを引っ張ると温くなる非常食。 カレーライス、スパゲッティなどの種類がある。
<input type="checkbox"/> 乾パン	5年保存
<input type="checkbox"/> 災害救助用クラッカー	5年保存
<input type="checkbox"/> 缶詰	
<input type="checkbox"/> やかん	
<input type="checkbox"/> 広口鍋	
<input type="checkbox"/> 紙食器類	紙皿、紙コップ、スプーン、フォーク、割り箸、紙ナプキン、紙タオル
<input type="checkbox"/> 携帯コンロ・ボンベ	煮炊き用、消毒用熱湯のための携帯コンロ、小型ボンベ。

承認	作成
	

火災対応手順書		制定	2008年1月15日
		改定	2020年8月1日
目的	火災発生及び火災報知器発報時、緊急対応を適切に行う事により社員と近隣住民の安全及び火災による環境汚染を防止する。		
No.	火災発生時	火災報知器発報時	
1	社内連絡 1.発見者は大声または火災報知機を押し火災発生を知らせる。 2.火災発生の連絡を受けた者は、消防署「119」に連絡し会社名、住所、火災状況を伝える。	現地確認 1.東棟2Fにある受信機で発報場所を確認する。 2.発報場所に移動し発報の原因を確かめる。 3.原因の内容を放送する (受話器を上げて90を押す) 例 ●ただ今の発報は誤報でした。 ●ただいま〇〇から火災が発生しています、避難及び消火活動を行って下さい。 ※判断は火災現場の状況による	
2	消化作業 1.消化可能な場合は近くの消火器を持って現場に向かい消化作業を行う。 2.消化の際に危険を感じたら直ちに避難する。 ※各消火器の設置場所の近くには右の表示がある。 		
3	避難・誘導 1.作業者の近くにある出入口から避難する。 2.下記の避難場所に移動し、環境管理責任者(不在の場合職制が上の者)は点呼を行い避難人数の確認を行う。 避難場所 本社 工場東側社員駐車場 R&D 箕輪中部小学校校庭		
4	警備 1.部門長は消防署の到着後現場に案内する。 2.不審者が社内に侵入しないか確認する。		
5	テスト及び見直し 1.年1回訓練を兼ねた消化テストを毎年10月に実施し、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。 2.火災発生後は原因を突き止め、再発防止のための手順を見直し改訂する。 3.改訂内容に基づいて再訓練及びテストを行う。		

<改訂履歴>

版	改訂日	改訂内容・理由
1	2012/12/25	工場統合による見直し
2	2018/1/7	R&Dセンター追記
3	2020/8/1	書式全面改訂・火災報知器発報時追記

承認	作成
環境管理責任者	環境管理責任者
	
改訂 2	
環境管理責任者	
1 / 1	

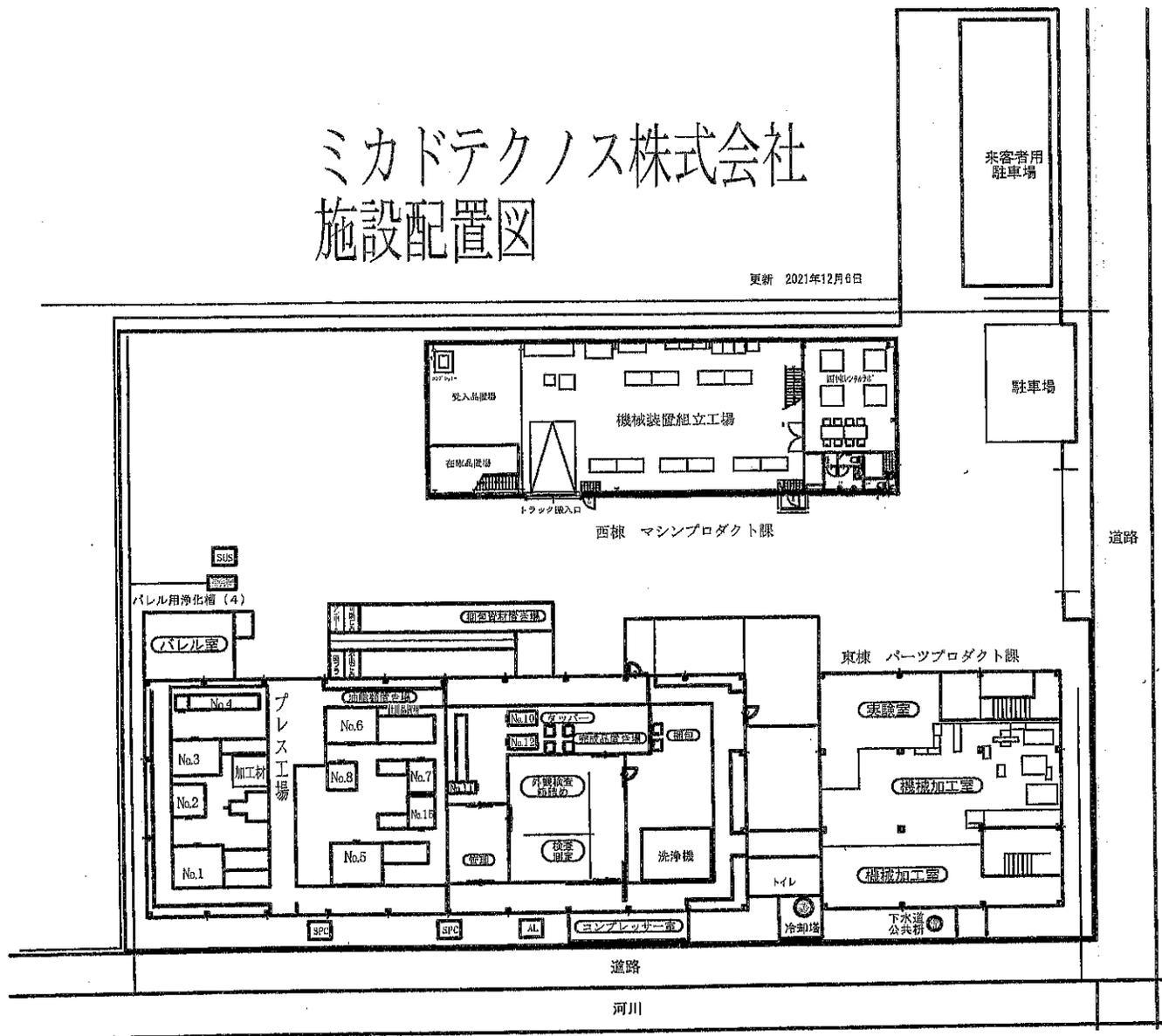
ミカドテクノス株式会社	油類漏洩対応手順書	
手順書		
制定： 2008年1月15日		
目的	油類の漏洩による水質汚濁防止を図る	
NO	作業手順（何を、誰が、いつ、どこで、どのように）	ポイント
1	(誰が) 油類及び切削油の取扱者	担当者が不在又は緊急を要する際には現場近くの従業員が行う。
2	(いつ) 油類の取扱時	
3	(何を) (どこで) 油類 油類取扱場所 廃油 廃油置場	油類取扱場所を明確にしておく。
4	(どのように) 油の量を確認し移しかえる (移し替えはじょうごを使用) 吸着マットの準備 油類は決められた場所に置く	吸着マット置き場 東棟コンプレッサー室及び西倉庫前 油類保管場所 西棟：工場南側 東棟：西倉庫前 工場内では廃油缶の受け皿の使用 廃油ドラム缶は常にフタを使用(油の流出防止)
5	(漏洩時の対応) ・課長職以上の者より環境管理責任者へ連絡 ・現場では吸収マットの使用により屋外への流出を防ぐ ・万一、流出して水質汚濁のおそれのある場合は課長職以上の者より関係各所(町役場、上伊那地方事務所)へ通報する。必要に応じ消防署、保健所へ連絡する。 ・水質汚濁事故が発生または発生につながる事態が発生した場合は、環境管理推進室員が「緊急事態記録」に記録し、対応する。また、問題となった手順を見直し、改訂する。	箕輪町町役場 住民環境課 生活環境係 TEL：0265-79-3111 (内線 116) 上伊那地方事務所 環境課 TEL：0265-78-6817 箕輪町消防署 TEL：0265-79-0119 伊那保健所 TEL：0265-76-6865 使用済みマットは一般廃棄物へ
6	(手順のテスト) ・漏洩時の対応手順に基づき訓練を兼ねたテストを実施し、「緊急事態記録」に記録する ・テスト後その手順の有効性・適切性を確認し必要に応じて手順書を改訂する	原則 6 月 環境改善委員が計画・実施・記録・改訂をおこなう。

<改訂記録>

版	改訂日	改訂内容・改訂理由
1	2010/3/27	公害防止管理者選任による見直し改定
2	2012/12/25	工場統合による見直し改訂

ミカドテクノス株式会社 施設配置図

更新 2021年12月6日



来客者用
駐車場

駐車場

道路

西棟 マシンプロダクト課

東棟 パーツプロダクト課

道路

河川

別表 環境への負荷の自己チェック表

<自己チェック表の構成等>

- 事業活動に伴う環境負荷について、本チェック表（Excelファイル）を基に把握してください。
- 環境負荷のうち、二酸化炭素排出量（エネルギー使用量）、一般廃棄物排出量等、産業廃棄物排出量等、水使用量、化学物質使用量は必ず把握してください。
また、エネルギー使用量料金、廃棄物処理費用等についても入力し、どの程度のコストがかかっているかを把握してください。
- 本チェック表は、以下の10シートから構成されています。「入力の手順等」を参考に、必要な数値、項目名、単位等を入力してください。
 - ・ 自己チェック表の構成・入力の手順等（本シート）
 - ・ 1. 事業規模（事業の規模）
 - ・ 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）：二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量等を一表に取りまとめる表
 - ・ 3. エネルギー使用量
 - ・ 4. 一般廃棄物排出量等
 - ・ 5. 産業廃棄物排出量等
 - ・ 6. 水使用量及び総排水量
 - ・ 7. 化学物質使用量
 - ・ 8. 資源使用量
 - ・ 9. 総製品生産量または販売量

<入力の手順等>

- ① 環境負荷を把握する期間（年は西暦）を入力してください。1年間の環境負荷データを入力できます。入力した期間は、2～7の各シートの青色のセルに自動で入力されます。

開始年月：	2022	年	1	月
終了年月：	2022	年	12	月

※原則として1年間の環境負荷データを入力しますが、1年未満の期間で入力することもできます。

- ② 各シートのセルに数値、項目名、単位等を入力してください。既に入力されている単位については、必要に応じて変更してください。

黄色のセル は、自動で合計値等が入力され、「2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に自動で入力されます。

- ③ 各シートで行、列の挿入や削除をすると、青色及び黄色のセルに設定している計算式等がずれることがありますのでご注意ください。

1. 事業の規模

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

指標	単位	対 象 期 間				
		(2011年1月～2011年12月)	(2019年1月～2019年12月)	(2020年1月～2020年12月)	(2021年1月～2021年12月)	(2022年1月～2022年10月)
従業員数	人	24	21	21	21	21
売上高	万円	540.00	460.00	480.00	507.00	527(10月分まで)
床面積	m2	1,372.00	1,372.00	1,372.00	1,372.00	1,372.00
生産高	万円					
生産量	t					
運搬量	t					
運送距離	km					
()						
()						
()						

(2) 化石燃料

○ ①～⑦に該当しない項目で大量に使用しているエネルギーがある場合には、⑧以降の表に入力してください。

○ 排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律」の単位発熱量と炭素排出係数を用い、算出しています（「単位発熱量」×「炭素排出係数」×44/12）。【参考】二酸化炭素の分子量は44、炭素の原子量は12。

①ガソリン

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	合計	月平均
使用量	L	65.00	126.00	42.00	92.00	109.00	92.00	142.00	122.00	14.00				804.00	67.00
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2	150.80	292.32	97.44	213.44	252.88	213.44	329.44	283.04	32.48				1,865.28	155.44

②軽油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

③灯油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	合計	月平均
使用量	L	3,024.00	2,794.00	216.00	389.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	632.00	1,259.00	401.00	8,715.00	726.25
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2	7,529.76	6,957.06	537.84	968.61						1,573.68	3,134.91	998.49	21,700.35	1,808.36

④A重油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

⑤都市ガス

排出係数： kg-CO2/m3

項目	単位	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	合計	月平均
使用量	m3														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※都市ガスの排出係数「2.16」は地球温暖化対策推進法施行令に示された標準状態での単位発熱量を多くの地方公共団体が都市ガス供給を受ける際の一般的と考えられる条件（温度15℃、1.02気圧）の体積当たりに換算した値。

8. 資源使用量

- 資源使用量は、右の四角囲いの例を参考に、主要な物質を把握してください。
- 製品の製造において原材料等として使用される水や石油等は、資源使用量として把握してください。
- 資源使用量を把握するのが困難な場合には、総製品生産量または総商品販売量に廃棄物排出量を足し合わせて算出することもできます。

対象期間（ 2022年 1月 ～ 2022年 12月）			
資源の種類	単位	使用量	備考（保管量等）
コピー用紙	kg	192.00	
専用機	t	30.00	
ユニット	t	1.40	
鉄	t	76.00	
ステンレス	t	160.00	
真鍮	t	14.70	

○資源の種類

- ・ 金属（鉄、アルミ、銅、鉛等）
- ・ プラスチック（種類ごと）
- ・ ゴム
- ・ セメント
- ・ ガラス
- ・ 木材
- ・ 紙（用紙も含む）
- ・ 農産物
- ・ 水 等

○使用時の状態

- ・ 部品、半製品、製品、商品
- ・ 原材料、補助材料、容器包装材 等

9. 総製品生産量または販売量

○ 製品等の生産量または販売量を把握してください。

対象期間（ 2022年 1月 ~ 2022年 12月）					
		製品名等	単位	生産・販売量	
製 品 ・ 商 品	重 量	専用機	t	30.00	
		ユニット	t	1.40	
		鉄	t	21.00	
		ステンレス	t	33.00	
		真鍮	t	3.70	
		重量合計	t		
	重 量 以 外				

環境関連法規制遵守 評価チェック表

作成日: 2011.11.22
 実施日: 2022.11.16



分類	適用法	内容	対象品・施設	対象作業	実施状況	評価
水質保全	水質汚濁防止法	特定施設の設置届け 酸・アルカリ表面処理施設	バレル研磨機	設置届けの提出	届出済み	○
		下水道への雑排水の管理	排水口	BOD・COD値測定	5/11測定済み	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物処理法	産業廃棄物の管理	廃油 廃プラ 金属類	廃棄物処理業者との契約	契約済み	○
				マニフェストの管理	管理中	○
				産廃物・リサイクル品の保管場所・責任者等の表示	11/15確認済	
				報告書の提出(1回/年6月末まで)	6/11提出済み	○
その他	消防法	危険物の取り扱い	灯油および貯蔵タンク	設置届けの提出	届出済み	○
	騒音防止法 箕輪町環境条例	コンプレッサー(7.5kw以上)	コンプレッサー	設置届けの提出	届出済み	○
		動力プレス(30ト以上)	動力プレス	騒音の測定および対応策	5/11測定済み	○
	振動規制法	振動値の把握	プレス工場周辺	振動の測定	5/11測定済み	○
	土壌汚染にかかわる環境基準について	油脂類の流出	油脂類置き場・洗浄機	油脂類流出時の緊急対応策	油吸着マット用意済み	○
		スクラップへの雨対策	スクラップ置き場	スクラップ箱への防水カバー	実施済み	○
フロン排出抑制法	エアコン室外機の管理全般	エアコン室外機	設置台数把握 定期点検 廃棄時の適正処理	11/15確認済	○	

フロン排出抑制法 第一種特定製品一覧表

承認	作成

改定: 2022/10/14
作成: 2016/3/6

No	種類	形式	メーカー	設置場所	対応室内機	冷媒フロン		管理者	コメント
						封入量 (g)			
1	エアコン室外機	MPUZ-P63HA	三菱電機	東棟実験室外	東棟2F	R410A	3,500	総務	
2	エアコン室外機	SSRU140BJ	ダイキン	正面玄関屋根	東棟実験室	R32	3,350	営業	
3	エアコン室外機	RZYP160CA	ダイキン	加工室室外	加工室(新)	R410A	3,400	PP課	
4	エアコン室外機	RY140DB	ダイキン	加工室室外	加工室(旧)	R22	4,300	PP課	
5	エアコン室外機	RZYP63KBT	ダイキン	東棟室外	検査室	R410A	2,800	PP課	
6	エアコン室外機	RZRP63BAT	ダイキン	東棟室外	検査室	R32	1,350	PP課	
7	エアコン室外機	RZYP80HT	ダイキン	東棟室外	東棟管理室	R410A	不明	PP課	
8	エアコン室外機	RZYP112BA	ダイキン	西棟室外	西棟実験室	R410A	3,500	MP課	
9	エアコン室外機	RZYP140BA	ダイキン	西棟室外	西棟2F	R410A	3,700	MP課	
10	ドライヤー	DRC-37PD	MEIJI	東棟加工室	-	R134a	200	PP課	360W
11	ドライヤー	RAX-55-B	ORION	東コンプレッサー室	-	R22	1650	PP課	2000W
12	ドライヤー	ZV08SR	三井精機	西棟	-	R407C	300	MP課	530W
13	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	MP課	
14	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	MP課	
15	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	MP課	
16	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	PP課	
17	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	PP課	
18	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	PP課	
19	スポットクーラー	SS25-DG-1	SUIDEN	各所	-	R407C	360	PP課	
20	ドライヤー	ZV37AX-R	三井精機	東コンプレッサー室	-	R407C R410C	1770/2090	PP課	

フロンガスの種類

R410A オゾン層破壊係数0 地球温暖化係数2090	R22 オゾン層破壊係数 0.05	R32 オゾン層破壊係数 0
R407C オゾン層破壊係数0 地球温暖化係数1500	R134a オゾン層破壊係数0 地球温暖化係数1300	

第一種特定製品とは

業務用として製造・販売された機器。
(オフィスで使用されている「家庭用」として製造・販売された機器は該当しない)

マニフェスト管理対象物質 一覧表

作成日:2006.10.03
改訂日:2019.01.07

承認	作成
	

区分	対象物質	マニフェスト回収期限	
		B1・D 票	E 票
一般産業廃棄物	廃プラ	90日	180日
	ビニール	↑	↑
	木くず	↑	↑
	廃油	↑	↑
	ガラス	↑	↑
	塩酸	↑	↑
特別管理産業廃棄物	なし		

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（令和 2年度）

令和 4年 6月 14日

長野県知事 様

報告者

住 所 長野県上伊那郡箕輪町大字三日町888

氏 名 ミカドテクノス株式会社 代表取締役社長社長 伊藤 隆志
(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話番号 0265-79-2323

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称		ミカドテクノス株式会社					業 種	一般機械器具製造業		
事業場の所在地		長野県上伊那郡箕輪町大字三日町888					電話番号 0265-79-2323			
番号	産業廃棄物の種類	排出量 (t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者の 許可番号	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 許可番号	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所	
1	廃油	0.36	2	2019080583	有限会社 ゼンユー	長野県安曇野市山郷小倉 6554				
2				2310080583	有限会社 ゼンユー	愛知県半田市日東町1番1	2320080583	有限会社 ゼンユー	愛知県半田市日東町1番2	
3	廃プラスチック類	1.15	27	2013007051	株式会社 信州ウエイスト	長野県伊那市西春近5806	2013007051	株式会社 信州ウエイスト		
4	木くず	1.79	15	2013007051	株式会社 信州ウエイスト	長野県伊那市西春近5806	2013007051	株式会社 信州ウエイスト		
5	ガラス	0.06	2	2013007051	株式会社 信州ウエイスト	長野県伊那市西春近5806	2013007051	株式会社 信州ウエイスト		

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
- 同一の都道府県（政令市）の区域内に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。
- 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
- 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。
- 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等に係るものを明らかにすること。
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

(日本工業規格 A列4番)

期間:2022.01~2022.12

環境コミュニケーション 管理台帳

文書No.	受理者名	情報提供者名	情報提供団体	情報の概要	回答		対策	
					有無	年月日	有無	年月日
-	竹村	-	シナノケンシ(株)	REACH27次一斉調査	○	2022/4/18		
-	竹村	-	(株)不二工機	科学物質の法令順守教育資料	○	-		
-	竹村	-	(株)不二工機	紛争鉱物調査	○	2022/6/3		
-	竹村	-	(株)不二工機	SVHC調査	○	2022/7/20		
-	竹村	-	(株)不二工機	紛争鉱物(コバルト)	○	2022/9/15		
-	竹村	-	(株)ミットヨ	ミットヨを取り巻く科学物質	○	-		

注)1. 文書No.は、西暦(4桁)一連番(3桁)とする。例:2006-001
 2. 受理、回答年月日及び対策年月日は、西暦で記入する。例:2006.01.11

防火訓練

2021.11.04

実施時間 13:00～13:30

出席者：全社員

<実施概要>

新入社員を主に消火器の取り扱い及び消火時の諸注意の講習を行い、全社員の防災意識を高め迅速な対応が出来る様訓練を行う。

<実施>

1. 消火器の取扱い時の諸注意講習。
2. 初期消火時の注意事項講習
3. 消火器を使用した実地講習。

※講師:沖山防災 沖山博



<実施内容>

- ① 火災発生時の初動及び初期消火について説明。
- ② 消火器の取り扱い時の注意事項の説明。
- ③ 消火器を使用して消火訓練の実施。
- ④ 消火器の種類（社内常備品）について説明。

4. 評価と反省点

全社員へ防火意識を持って貰い、火の元注意の意識付けが出来た。

新入社員を中心に消火器訓練を行い、消火器の取り扱いができるように訓練を行い消火器の使用方法を習得することが出来た。

定期的な訓練を行い、防災意識を持ってもらえる様にする。

以上

環境目標	具体的施策		1～4月	5～8月	9～12月	環境管理責任者の確認評価	確認
化石燃料削減 (ガソリン・軽油) (売上高比:0/万円)	使用量の把握・管理 暖房時の温度管理 公共機関利用推進 省エネ運転推進	目標値	0.017			[1～4月] ジェットヒーターの比率を増やしたことにより化石燃料の使用量が増えています。戦争の影響で今後燃料費が上がると予想される中で、個人ができる小さなこと「不要な時は消す」を徹底し削減に取り組んで下さい。	2022.5.10
		実績	0.014	0.022			
		実績累計値	/		0.018		
		達成度	121%	94%	#DIV/0!		
		評価	A	B			
化石燃料削減 (灯油) (売上高比:0/万円)	使用量の把握・管理 暖房時の温度管理 公共機関利用推進 省エネ運転推進	目標値	0.175			[5～8月] 残業時間に関して36協定を遵守しているだけでなく、特にパーツプロダクト課は1月～8月まで全ての従業員が45時間以内になっており無駄な残業が減っていると感じています。年間を通して残業を減らせる様朝礼等で周知させていただきます。	2022.9.26
		実績	0.36	0.00			
		実績累計値	/		0.19		
		達成度	49%	92%	#DIV/0!		
		評価	C	B			
電力使用量削減 (売上高比:Kwh/万円)	不要な照明の消灯 エアコンの温度管理 OA機器の節電 省エネ機器の導入 LED照明への置換	目標値	6.33			[9～12月]	
		実績	4.86	3.18			
		実績累計値	/		4.07		
		達成度	130%	156%	#DIV/0!		
		評価	A	A			
CO2総排出量の削減	-	目標値	170,429				
		実績累計値	/				
		達成度	#DIV/0!				
		評価					
コピー用紙削減 (売上高比:Kg/万円)	裏紙の再利用 両面コピー・印刷 メールの活用	目標値	0.005			[1～4月] 冬は特にエネルギー費が高くなります。戦争等の地政学的要因も加わり電力会社からの値上げ連絡が来ています。冬は特に電力、燃料費が高いので意識を高めて節電を行ってください。	2022.5.10
		実績	0.004	0.004			
		実績累計値	/		0.004		
		達成度	125%	125%	#DIV/0!		
		評価	A	A			
不燃ゴミ削減 (売上高比:Kg/万円)	ゴミの分別化 ゴミのリサイクル	目標値	0.071			代表者の評価	確認
		実績	0.055	0.058			
		実績累計値	/		0.056		
		達成度	129%	127%	#DIV/0!		
		評価	A	A			
用水使用量削減 (売上高比:m³/万円)	使用量の把握・管理 節水の推進 (減圧弁0.4MPa設定)	目標値	0.0105			[5～8月] 月平均で50万円台であった高压電力の料金が8月は2倍の100万円の請求になっています。急激すぎる高騰に対応するために製品単価に見直しを行ってください。エコ活動だけでは限界があります。	2022.9.26
		実績	0.0077	0.011			
		実績累計値	/		0.009		
		達成度	136%	117%	#DIV/0!		
		評価	A	A			
グリーン購入の推進 (%)	購入量の把握・管理 購入時の選択管理 情報の収集	目標値	75.4			[9～12月]	
		実績	71.5	71.5			
		実績累計値	/		71.5		
		達成度	95%	95%	0%		
		評価	A	A			
残業時間の抑制	36協定の順守 残業時間の掲示	目標値	36協定内				
		実績	○	○			
		達成度	100%	100%			
		評価	A	A			
メンテナンス部品削減 製品 マワリドメ 売上に対する仕入れ比率 10%以内	金型構造の見直し 金型部品の見直し 外観限度見本の作成	目標値	10%以内				
		実績	18%	17%			
		達成度	56%	59%			
		評価	C	C			

評価:A良好(100%以上) Bやや不足(80%以上～100%未満) C不足(80%未満)

※C判定に関しては次年度内容を精査し活動計画を見直す。

代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し（年度終了後）
□臨時見直し

実施日：2022年2月2日

代表者	環境管理責任者

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による） 2021年12月24日に定期評価を実施した結果遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特にありません。 ③目標に対しての取り組み状況 プラゴミの分別に関して朝礼で捨て方のレクチャーがあった事で、より細かく分別ができるようになったと感じます。 ④前回までの代表者の指示事項への対応 プレス工場防音壁について入替に向け業者と打合せ中です。 <改善への提案> パート・アルバイトの方が増えてきたので手順書等の作成が必要と感じています。				[環境方針] 変更の必要性： □有 ■無 環境方針の変更はありません。以降も継続していきます。	
[目標・環境活動計画の達成状況] （詳細は環境活動計画書による）				[目標・活動計画] 変更の必要性： ■有 □無 効率の良い生産活動が結果として環境に対して効果が出てきます。電力使用量も売りに上げに直接寄与しない金型トラブル対応での通電が多いと思います。効率を上げる為に外部コンサルタントの導入を検討しています。備考欄に書かれている通り、メンテナンス費の削減を実行してください。	
目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)		
化石燃料の削減	○	○	基準年度の見直しが必要		
化石燃料の削減(灯油)	○	○	燃費の良いジェットヒーターの導入		
電力使用量の削減	×	×	年間を通して悪い、集計の見直しが必要		
CO ₂ 総排出量の削減	△	△	-		
コピー用紙の削減	○	○	通年通じて目標を達成している		
不燃ゴミの削減	○	○	ゴミの分別に関して意識が高くなっている		
用水使用量の削減	○	○	問題なし		
残業時間の抑制	○	○	法定範囲内でした。		
グリーン製品使用	○	○	引き続き継続		
<改善への提案> プレス工場で使用しているコンプレッサーが設置から15年以上経過していますので、効率の良いコンプレッサーに交換を希望します。				[その他] 変更の必要性： □有 ■無 引き続き、法改正などの最新情報に留意しつつ法令順守に努めていきます。	
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録他 MP課では半導体不足の影響を受けていますが、PP課ではメインの客先を筆頭に生産数が増えており2022年度前半も好調を維持できそうです。※増産の理由が中国にあるので中国の動向には注意が必要です。 ②環境関連法規制等の動向他 特になし <改善への提案> PP課では2022年度前半も好調な事からプレス機生産ラインの増設・人員の確保が急務となります。				[総括] （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 新型コロナの終息が見えない中、量産部品の受注量が増えてきており設備、人共に不足している状況です。会社の既存設備も色々更新しなければならない時期に来ており効率の良い生産活動を全員で行う必要があります。エコアクションを続けていく中で、その効果が出ることを期待します。基本的なごみの分別やグリーン製品の積極的な使用等は意識せずとも出来るようになっていきます。今後とも持続可能な世の中の為に会社として、従業員一人一人として携わっていきましょう。	
備考 プレス部門の歩留り改善について目標の一つにしてみてもどうか？とエコアクションの監査人よりアドバイスを受けました。分析を行うとメンテナンス回数の多さが要因と考えられますので、次年度は「メンテナンス費の削減」を目標に掲げ活動していきます。					